



質問
町道切戸線の開通を急げ

答弁 基本調査に取り組みたい



茂夫 議員

質問 町道切戸線は長年の懸案事業です。また、西川大橋の架け替えや水際障害訓練の車輛の進入道としての計画もあるそうです。

浜ノ瀬地内の道路は狭く大きな車輛は通れません。この道路ができれば災害対策や漁業産物の運び出しも迅速に行われ、新鮮魚類としての価値も上がります。1日も早く取り組むべきと思いますが、どうでしょうか。



町長 継続で実施しています町道浜ノ瀬新浜線については、本年度1200mを実施すると港湾内の臨港道路に接続することが出来ます。

これで浜ノ瀬地内の外周道路として、幅員5mの道路が完成となる訳です。しかしながら、ご指摘のとおり、この若者広場から大川橋に至る道路が必要であると考えています。今後は、保安林解除も含め基本調査を、実施したく考えています。

● 西川に水門を設置しよう

質問 西川河口の自動開閉式水門は、建設費約150億円、対経済効果は300億円、守れる財産は800億円と言われ計1,100億円の対投資効果と5,000人以上の人命が守れると推計されます。こんな素晴らしい公共投資は他になく、指をくわえているだけでは何事も解決しません。

西川河口の水門が難しいのであれば、西川小橋付近あるいは少し下側に水門を設置すれば、津波は西川を登ります。西川大橋の架け替えと併せて取り組むべきと思いますがどうでしょうか。

● 県と協議を
していきたい

町長 西川河口への水門の設置を国並びに県に陳情しています。この河口部への水門の設置は莫大な費用が予想されます。事業化につ



開通が急がれる町道切戸線

いては、はつきりした返事は聞いていませんが、困難な事業と感じています。確かに西川小橋付近への水門設置については、河口部と比べますとより早く実現性があると思います。しかし、西川を津波が疏上しても大丈夫なのか、西川の左岸側は大丈夫なのか等、色々課題があると思います。西川大橋の架け替え調査がこれから始まりますので、それに併せて、今後、県と協議を行っていききたい。